学校番号	302

平成 31 年度　芸術科（音楽）

教科	芸術	科目	音楽Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	音楽Ⅲ（教育出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・音楽Ⅰ・Ⅱで学習した「歌唱・合唱」「器楽」「創作」「鑑賞」の４つの分野を更に深めていきます。
・学習の到達度は、授業で配付するワークシートや小テスト、実技テストで評価します。
・音楽Ⅲの学習は、特にアンサンブルによる活動を重要視しています。
・音楽の学習を通して協調性を育み、人とのつながりを大切にすること学んでほしいと願っています。

2　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評価方法	観察 ワークシート	観察・演奏の聴取 ワークシート	演奏の聴取 提出作品	観察 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				題材の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	お互い聴き合うことを大切にして素敵なハーモニーを創りだそう	【歌唱】 校歌 （アカペラ版混声合唱） 混声3部合唱曲	○	○	○		a：ハーモニーを創りだすことに喜びを感じ、イメージをもってアンサンブルすることに主体的に取り組もうとしている。 b：音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図をもっている。 c：表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	三線と箏によるアンサンブル	【器楽・和楽器】 箏によるアンサンブル (重奏)	○		○		a：アンサンブルに関心をもち、その持ち味を生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 c：アンサンブルや和楽器の楽譜を理解し、表現したいことを伝えるための技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
		【創作】 和楽器アンサンブルの楽曲を創作		○			b：旋律と和音の関係を知覚し、その働きを感受しながら、表現したい音楽をイメージして、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	鑑賞で音楽に対する理解を更に深めよう	【鑑賞】 交響曲第5番「運命」 (ベートーヴェン)	○			○	a：管弦楽で扱われる楽器の音色や旋律、リズムの特徴と表現上の効果との関わりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d：音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート

後期	自由課題での表現	【歌唱・器楽】 楽曲は自分たちで選択する	○	○	○		a:自分たちが選択した楽曲に対し、その楽曲が持つ曲想や歌詞が表す情景や心情、楽曲の背景との関わりに関心をもち、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:その楽曲が持つリズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:曲想を歌詞や楽曲の背景と関わらせて、イメージをもって音楽表現するために必要な発声、発音、呼吸法、読譜などの技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	様々なアンサブルに挑戦	【器楽】 リコーダーアンサンブル 「ディズニーメドレー」 （SR・AR） ピアノ10手連弾 「うさぎ小屋のピアニストたち」	○	○	○		a:ソプラノとアルトという２種類のリコーダーの音色や音域の違いに関心をもち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組んでいる。 またピアノの構造・特徴・奏法に関心を持ちそれらを生かして演奏する学習に主体的に取り組んでいる。 b:音色やリズムなど音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c:それぞれの楽器が持つ音色や奏法の特徴を生かした技能を身に付け、創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	自分たちで企画して発表会を開催しよう	【歌唱・器楽】 音楽発表会の企画から開催まで	○	○	○		a:発表会の運営に関心をもち、自分たちで話し合いながら企画から実際に開催に至るまでを主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図をもっている。 c:それぞれの楽曲が持つ曲想などをイメージをもって音楽表現するために必要な技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	鑑賞で音楽に対する理解を更に深めよう	【鑑賞】 ヴァイオリン協奏曲 （メンデルスゾーン）	○			○	a:独奏楽器と管弦楽で扱われる楽器の音色や旋律、リズムの特徴と表現上の効果との関わりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート

＊選曲や教材曲については生徒の実態に合わせて変更することがあります。